

## MIE PRIDE CUP 三重県中学生陸上競技対抗選手権大会

## 第66回全日本中学生通信陸上競技三重大会

# 新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、(公財)日本陸上競技連盟の定める【陸上競技活動再開のガイダンス③競技会開催について】および三重県の定める【県主催のイベントの開催基準】、本協会の定めるガイドラインに従い、大会運営を行う。

### ① 大会運営全般について

- 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を可能な限り排除する。
- 大人数が集まる開会式・閉会式は行わず、最小限の人数での開始式と表彰式のみ行う。
- 大会当日受付にて**体調チェック表**と**学校長の出場認知書**を提出する。提出なき場合は出場を認めない。
- 大会役員・競技役員ともに、当日審判受付にて体調チェック表を提出する。
- 選手・役員全ての関係者において、発熱症状や体調不良等が認められる場合は入場を認めない。
- 無観客大会**とする。(保護者・応援生徒・付き添い等の入場は禁止)
- 全ての大会関係者は、原則マスク着用とする。ただし、競技中(ウォーミングアップ等を含む)の選手や熱中症の健康被害が発生すると判断した場合は着用しなくてもよい。なおマスクを着用しない場合はソーシャルディスタンスを十分に保ち、咳エチケット等十分に配慮すること。
- 役員室・審判控室等の諸室は、熱中症対策として空調を効かせながらも換気を十分に行う。
- 看護師を常駐させる。
- 発熱者専用の個室を準備し、通常の医務室利用者と熱中症ではないと判断された発熱者を隔離する。
- 選手待機場所や昼食場所等は十分な広さを確保するが、ソーシャルディスタンスを保ち、向かい合っでの飲食や大声での会話は控える。
- メインスタンドを選手待機場所として開放する。ただし、座席の間隔を空けて距離を十分に保つようにする。
- 大型スクリーンやLED表示板、放送等を活用し、感染症対策の注意喚起を適宜行う。
- 受付には透明パネル(フィルム)を設置し、飛沫感染対策を施す。
- 使用済みのマスクやティッシュ等は必ず持ち帰るようにする。会場にはゴミ箱等の設置はしない。

### ② 競技運営について

- 招集所では密を避けるため原則、トラック種目のみ招集を行い、フィールド種目は、跳躍種目を第4ゲート内、投てき種目を第2ゲート内で招集を行う。競技場入場の際は種目によって決められたゲートを使用し、進行中の競技に影響が出ないようにすること。また、トラック内フィールドに入場する場合は現地審判員の指示に従うようにする。
- 集団での応援・大声での応援・フィールド選手への声かけ(返事等)は禁止する。
- ゴール後スタート位置に戻る時は競技場内芝生上を通行してもよい。天候等によってはダッグアウトを通行してもよいが、密にならないように注意する。また、進行中の競技に配慮する。
- リレーバトン・砲丸・円盤等、複数の選手や役員が触れると考えられる備品に関しては、適宜アルコール消毒を行う。
- 競技者が1カ所に集まると想定される競技前の待機中は、ソーシャルディスタンスを確保し、密にならないよう配慮する。また、競技者同士の必要以上の会話等は控える。
- 記録の発表はアナウンスおよび大型スクリーン、WEBの速報サイトのみとする。原則掲示は行わない。
- 表彰は、1位から3位までとする。表彰場所に密集することのないようにする。4位から8位入賞者の賞状は、顧問もしくは監督がエントランスホールまで取りに来るようにする。

以上のように、感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、100%感染を防止するわけではありません。万一、大会会場内で新型コロナウイルスの感染が確認されたとしても、主催者は責任を追うことができない点をご了承ください。